



～礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉



マスメディアに動かされている。

多くの民衆が、ごくわずかなマスメディアに関わる者達の制作した情報に動かされている。その様な一方的な視線からの情報である、と理解して受け入れている人ならまだ安心できるが、全く何も考えずに全てを鵜呑みにしている人達が危険である。

テレビが放送しているから大丈夫。新聞に書いているから正解です。だからニュースを観なさい、新聞を読みなさい。確かに、ある程度の情報を得るためには必要だ。ニュースを観たり新聞を読む事は賛成だ。

ただ、偏ってしまう事は良くないし、ニュースや新聞に書いている事だけが真実で、他の意見は間違っていると考えるのは駄目である。

ワイドショーみたいな人の噂話がメインな番組だって、どこまでが本当なのかも定かではない。

だいたい人の噂話を真に受ける事自体愚かだ。例えば芸人やタレントレベルぐらいならその噂が本当だろうと嘘だろうとどうでもいい話だ。

しかし、問題は政治、経済や教育を含む国のレベルの話題を平気でワイドショーで流してしまっている事が恐ろしい。訳の分からない胡散臭い評論家や何でその席に座って偉そうに上から目線で語っているの？と聞いてみたくなるタレントや芸人達。もちろん観ている側も全てが馬鹿ではないから軽く流して面白可笑しく観えていると思う。

しかし、そこが危険なのだ。

いつもお決まりの評論家やコメンテーター、タレント、芸人達が重要や大切な問題でもウケ狙いで茶化してしまう。すると観ている側も、本来ならもっと深く考えないといけない問題でも、軽くスルーしてしまうのだ。

はっきり言って、テレビも新聞も雑誌も、関わっている者達は食っていく事が大前提。いくら格好つけても売れてナンボの世界。評論家もタレントも生活するためのギャラ稼ぎ。

全て金優先なのだ。その為にはウケないと困るのだ。だから茶化してしまう。

司会者や出演者達は一般的に働いている人達なんか比べものにならないギャラを得ているくせに、貧困層の味方につき同情しての好感度アップ作戦。また、国会議員もテレビに出てないと人気が取れないと、顔を売るために公務も忘れてタレント気取り。

どこか変じゃないか？ 方向性が間違っていないか？

テレビ局の失態はあまり公にせず、少し頭を下げるぐらいで終わり。他人の事は思い切り叩く。裏ではテレビ局に対して、人気商売の者達はペコペコ頭を下げて、台本通り。そして、人前では裁判官気取りで権威、権力を見せつける。こんな奴らの情報で動かされているだけでは、いつまでもたっても我々は自らの手で自らの生活も良くできないし、この国も変わらない。

マスメディアに関わる者達よ、政治家の無責任さを叩くだけでなく、自らの無責任さも認め、もっと覚悟を持って報道していただきたい。

そして、我々も本当なのか？何故なんだろう？と、一步下がって考える力を身につけるべきだ。

真実は一つだけではなく、見方によって変わっていくもので、その中でバランスを大切にしていける事ができるようにならなければいけないだろう。

マスメディアの権力。

まずはここから見直し、改善していくためには、多くのスポンサー企業が視聴率アップのウケ狙い、茶化した番組に物申す存在になるべきだろう。

テレビ局といっしょになって茶化していると、その商品も薄く、茶化された物と思われても仕方がない。

面白い事は大事だが、それ以上に情報を与える側に心がないと、受ける側にも心は産まれないだろう。

これは、私も平成武師道の同志にも言える事だと思う。

言葉の責任感と覚悟。

忘れてはいけない事である。